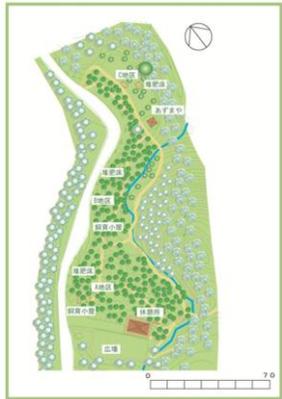


## ～人が利用することで守られてきた森～

昭和30年代まで、人は森からの恵みを燃料や食料として利用しながら暮らしていました。そのため、森を手入れし、大切に守ってきました。実は、この手入れが、森の景観や様々な生きものの暮らしを守ることに繋がっていました。「人」と「森」と「生きもの」が深く関わりながら暮らしていたのです。今、豊かな暮らしと引き換えに、人の暮らしから遠くなってしまった森は、人や生き物を寄せつけなくなってきました。私たちは、昔あったような森を少しでも再現できればと思い、森づくりをおこなっています。

## ～フィールド～ ＜カブトムシの森＞



「里山に代表されるクヌギ・コナラの二次林の自然環境を復元、維持するための作業を行っています。

## ＜アカマツ林＞



放置すれば常緑樹になっていく「貴重な植物群落」アカマツ林を保全するための作業を行っています。

## ～活動内容～

### ○間伐・草刈



間伐や下草刈などの作業にはリーダー（担当）がいるので、安心して活動できます。

### ○調査



アカマツの次世代が育っているかどうかを把握する幼木調査や成木調査を行います。

トラップを仕掛けて、かかった昆虫の種類や個体数を記録します。

### ○勉強会

現地見学をしながら、計画に基づく森づくりができていないかを検証し、大学の先生など専門の方をお呼びして森づくりの勉強会を行います。

### ○木工

雨の日は室内で木工教室やシイタケの菌打ち作業などを行います。



### ○安全

消防署職員による緊急・応急処置の勉強会など安全講習をおこないます。



### ○バーベキュー

時には、キャンプ場を利用し、持ち寄りの材料でバーベキューなどを楽しみます。



### ○ふれあい

子どもだって使い方をしっかり教えてもらい何でもチャレンジ！

